

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年7月6日

埼玉県総合リハビリテーションセンターの脳神経外科において、手のふるえに対する先進的な治療法の「MRガイド下 集束超音波治療（^{エフユーエス}FUS）」を始めます

埼玉県総合リハビリテーションセンターの脳神経外科では、本態性振戦*やパーキンソン病による「手のふるえ」に対する治療として、「MRガイド下集束超音波治療（FUS=Focused Ultrasound Surgery）」を始めます。

MRガイド下 集束超音波治療は、「手のふるえ」に対する先進的な「切らない外科的治療」であり、当センターが現在治療のできる全国で18番目の実施医療機関になります。

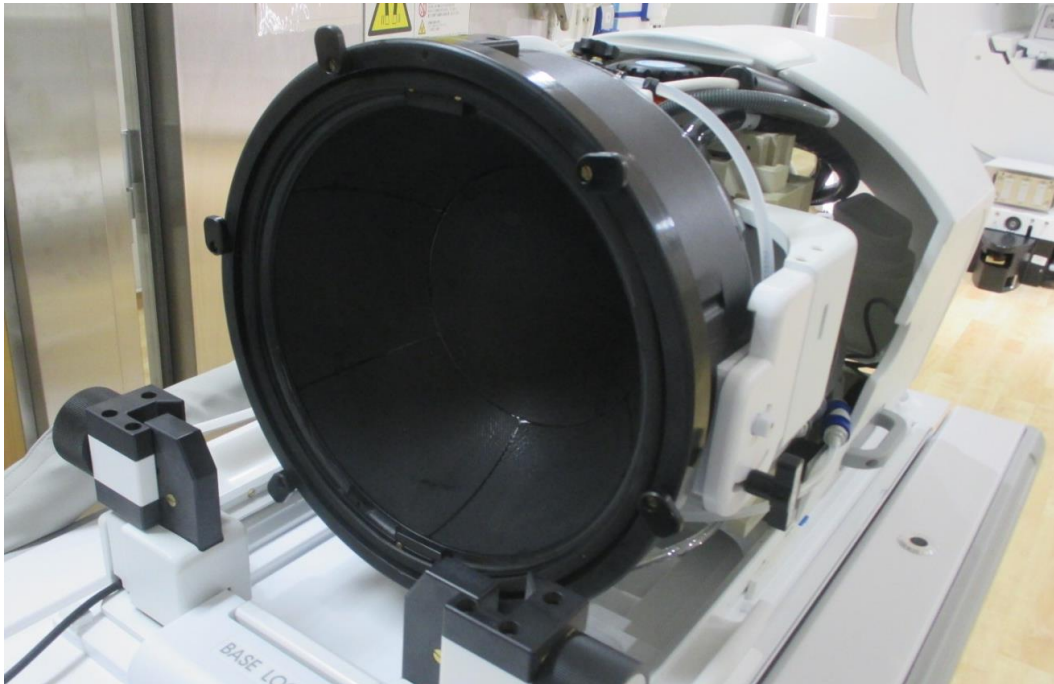
*本態性振戦：原因の不明なあるいは特定の原因によらない、規則的な震えを生じる疾患。

40歳以上の4%、65歳以上の5～14%の人に認められるとの報告もある。

（出典：日本神経治療学会「標準的神経治療：本態性振戦」）

1 MRガイド下 集束超音波治療（FUS）とは

MRI（磁気共鳴画像診断装置）で正確な治療部位や温度を確認しながら、ふるえの原因となる脳の部位に超音波を一点に集束させて照射し、治療部位を熱凝固して治療します。従来の手術療法のように頭蓋骨に孔をあける（穿孔する）必要がないため、出血や感染症のリスクが少ないと考えられます。治療中は、患者さんと医師が対話をしながら、安全性と効果を確認します。



2 開始時期

令和8年7月22日（水）から

3 対象疾患

- (1) 本態性振戦のふるえ ※令和元年6月から医療保険適用
(2) パーキンソン病のふるえ ※令和2年9月から医療保険適用

4 治療に必要な入院期間

約5日間～10日間

5 治療の流れ

治療の流れについては以下のホームページを御確認ください。

https://www.pref.saitama.lg.jp/b0605/byouin/fus_kaisetsu.html

6 相談・問い合わせ

埼玉県総合リハビリテーションセンター 医療相談科

電話 048-781-2222 (代表) 平日 8:30～17:00

7 ふるえ・不随意運動外来

手のふるえなどの症状がある方への専門的な診察、治療を提供するため、令和8年5月に「ふるえ・不随意運動外来」を新設しました。

【診察日】 毎週月曜午前9時～正午

【担当医】 渡邊 充 (脳神経外科)

【予約先】 埼玉県総合リハビリテーションセンター 総合受付

電話 048-781-2222 (代表) 平日 8:30～17:00